

02

青森県

地域活性化のために

～集落営農で拓く未来～
ひら あした

J A つがる弘前

鶴巻 順子

つるまき じゅんこ

地域活性化のために ～集落営農で^{ひら}く^{あした}未来～



JAつがる弘前



鶴巻 順子



現状

年々厳しくなっている

農業を取り巻く環境



営農の継続が困難に...

JAの存続が

危ない



どうすればいいか...

「経営体」を育成する!



集落営農を発展

地域活性化



課題

高齢化・後継者不足

[管内の農業従事者]



[後継者が増えない要因]

- ・ 農家では世襲が大半。
- ・ 新規就農は初期費用が多額。

耕作放棄地

様々な問題を引き起こす。

環境との調和

農業生産と環境との関わりは相互に影響

環境と調和のとれた農業生産の実施が重要

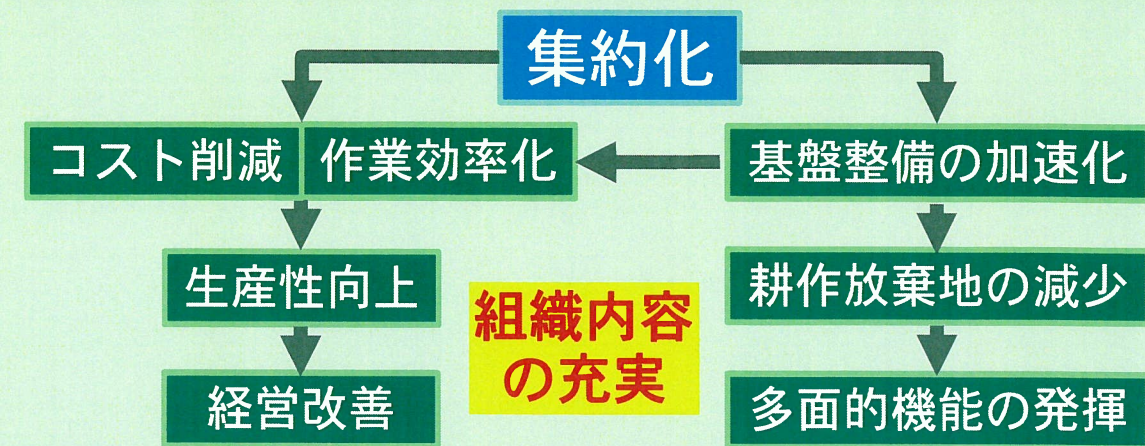


分析

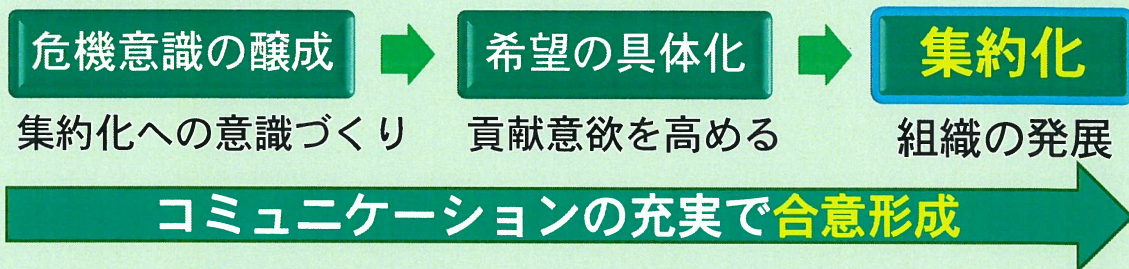
	好影響	悪影響
内部要因	強み <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型。 ・ 機械の共同利用。 ・ 農業の多面的機能。 	弱み <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営状況のバラつき。 ・ 米穀作物偏重の作付。 ・ 交付金依存。 ・ 構成員の高齢化。
外部要因	機会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世間のSDGsへの関心。 ・ 国の補助事業。 ・ デジタル技術。(DX、ICTなど) 	脅威 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米価低迷傾向。 ・ 輸入農産物。 ・ 気象変動。 ・ 環境への影響。 ・ 国の農業政策。



戦略1. 集約化



[集約化の手順]



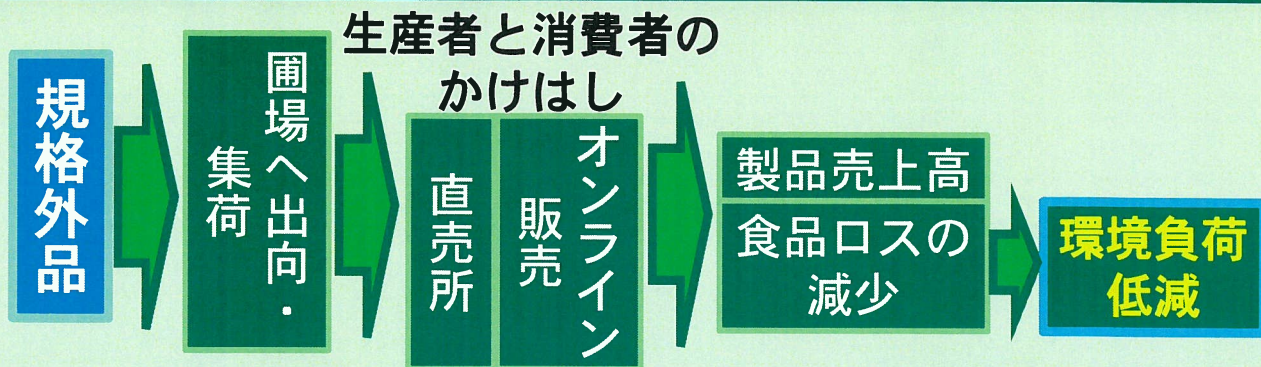
戦略2. サステナブル農業



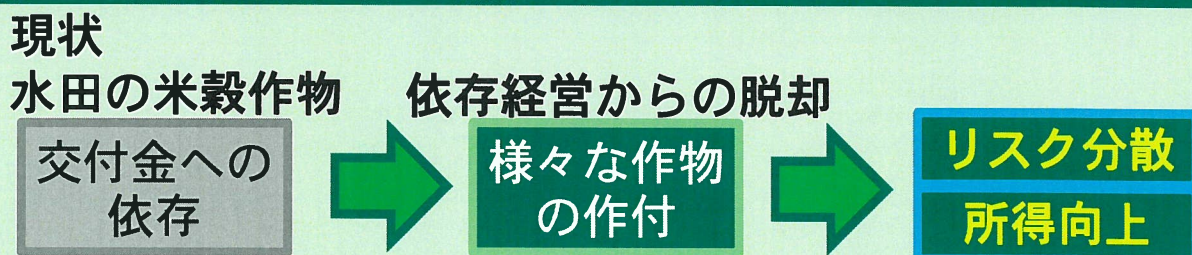
戦略3. 雇用の創出



戦略 4. 規格外品等の有効活用



戦略 5. 各種作物の作付け



まとめ

戦略の実現

効果

- ・ 作業効率化
- ・ 環境負荷の低減
- ・ リスク分散
- ・ 生産性向上
- ・ 雇用の創出

解決

高齢化、後継者不足の解消
耕作放棄地の減少
環境との調和
集落営農の経営改善

地域農業の活性化

